
最先端IoT技術を活用したFinTechによる 新たな社会創造

～ データを活用した資金調達手段の多様化の促進～

Global Mobility Service株式会社



2018.10.24

会社概要

概要

商号	Global Mobility Service 株式会社
本社	東京都港区芝大門
設立	2013年11月25日
資本金	17億3,900万円（資本準備金含む）
現地法人	Global Mobility Service Philippines, Inc. Global Mobility Service (Cambodia) Co., Ltd. PT Global Mobility Service Indonesia

設立株主

小宮山 宏	元東京大学総長 三菱総合研究所理事長
福武 總一郎	株式会社ベネッセHD 最高顧問
松島 克守	元PWC常務取締役 東京大学名誉教授



東京本社オフィス



フィリピンオフィス



インドネシアオフィス



カンボジアオフィス

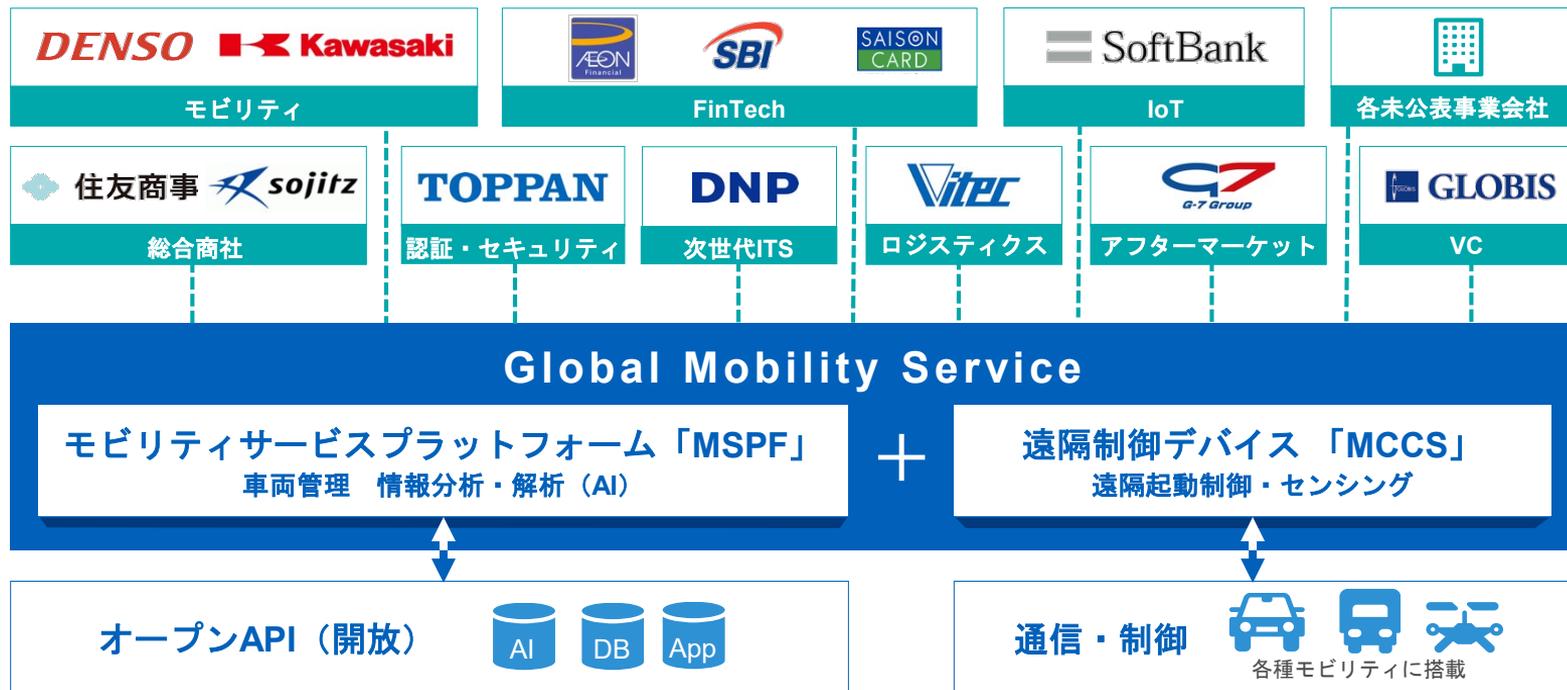


商品管理センター

栗原 省三	元日産自動車VP 兼 グローバルCIO
中島 徳至	代表取締役

GMSのモビリティIoT・FinTech技術

東証一部上場事業会社10社以上に、資本参加いただきながら事業構築



モビリティサービスを通じて多くの人を幸せにする

真面目に働く人が正しく評価される仕組みを創造する

誰もがモビリティを利用できる社会

騒音・排気ガスのない世界

社会がモビリティを利活用できる仕組み

活力ある働きがいのある社会を創造

「車を必要とする仕事に就業するために」
「排気ガスの少ない車を購入するために」
新車を購入できる環境が求められている

ローンを活用できない人口は全世界で

 **20** 億人

雇用創出・所得向上・大気環境改善
を実現するための環境が不可欠



各国の平均年齢とGDP成長率



平均年齢



日本

46歳



インドネシア

29歳



カンボジア

24歳



フィリピン

23歳



GDP成長率



日本

1.7%



インドネシア

5.1%



カンボジア

6.8%



フィリピン

6.7%

車のローン審査 非通過率（潜在含む）

平均年齢が若く、経済成長率も高い中、なかなかローン審査に通過できない



日本



インドネシア



カンボジア



フィリピン

世界におけるFinancial Inclusion（金融包摂）の必要性

世界には支払い能力があっても“金融”を使うことができない人が多数

地域別・国別 金融サービスへのアクセス率（成人人口に占める金融機関取引を有する人口比率） ■ 0～30% ■ 31～50% 51～100%

アジア	%	アフリカ	%	北米・中南米	&	中東・北アフリカ	%	欧州	%
シンガポール	98	モーリシャス	54	カナダ	96	サウジアラビア	62	オランダ	100
韓国	63	ボツワナ	47	米国	91	トルコ	49	デンマーク	99
マレーシア	60	南アフリカ	46	ドミニカ	66	チュニジア	42	フィンランド	99
タイ	59	カーボヴェルデ	40	チリ	60	エジプト	41	ルクセンブルク	99
スリランカ	59	ガボン	39	ジャマイカ	59	ヨルダン	37	ウスエーデン	99
インド	48	スワジランド	35	パナマ	46	オマーン	33	ドイツ	97
中国	42	ジンバブエ	35	キューバ	45	アルジェリア	31	ベルギー	97
インドネシア	20	ベニン	32	ブラジル	43	イラン	31	フランス	96
パングラディシュ	32	ニジェール	31	ウルグアイ	42	モロッコ	28	オーストリア	96
ベトナム	29	ナミビア	28	コロンビア	41	リビア	27	スペイン	95
フィリピン	26	トーゴ	28	エクアドル	35	シリア	17	イギリス	91
モンゴル	25	セネガル	27	グアテマラ	32	イエメン	14	スイス	88
カンボジア	20	コンゴ	27	スリナム	32	西岸・ガザ	14	アイルランド	88
ネパール	20	ブルキナファソ	26	ポリビア	30			ポルトガル	84
ミャンマー	19	コートジボアール	25	コスタリカ	29			ノルウェー	84
ブータン	16	アンゴラ	25	アルゼンチン	28			ギリシャ	83
パキスタン	12	カメルーン	24	ベネズエラ	28			イタリア	75
		ルワンダ	23	メキシコ	25			ロシア	69

(出所) WorldBank(2008) Finance for All? Pp9-10 日本はデータなし

赤・黄ハイライトの国々は、特に私たちのサービスを必要としている

独自開発の最先端IoT技術による、問題の解決

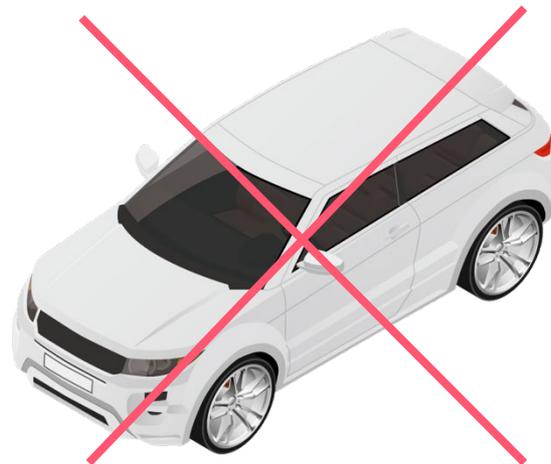


MCCS

Mobility-Cloud Connecting System

特許取得済

デバイス搭載車両



ローン・リース契約車両の
車のエンジンを遠隔で起動制御

GMSが提供する価値

貸したくとも貸すことが出来なかった



金融機関

デフォルトリスクを
最小限に抑える

賃高が増える

売りたいくとも売れなかった



車両販売店

売れなかった車が
売れるようになる

販売台数が増える

買いたくとも買えなかった



ローン・リース契約者

買えなかった車が
買えるようになる

生活が豊かになる



ファイナンス企業

与信補強により

ファイナンス対象を拡大させたい企業



OEM・車両販売店



契約者

GMSのサービスモデル



FinTechサービス提供



レベニューシェア



ファイナンス企業

ローン・リース



支払い



契約者



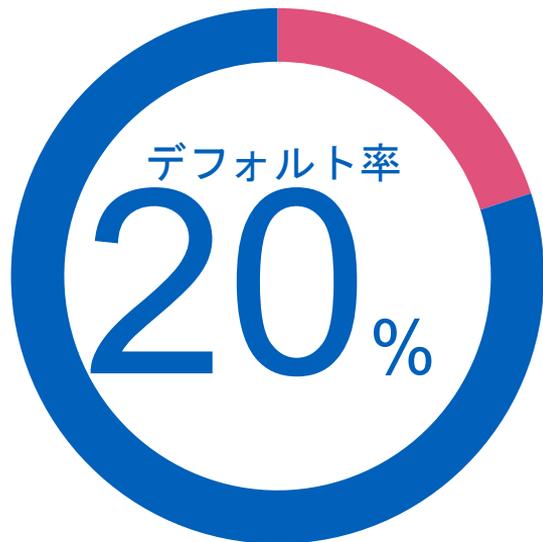
フィリピン国内
車両登録割合

上記サービスのモデルは、ライドシェアでも高い期待が集まっている

- トライシクル 51%
- 乗用車 12%
- ジプニー 26%
- その他 11%

金融の常識を変えたデフォルト率

これまでの現地金融機関の
デフォルト実績



GMSのサービスを利用した
ローンのデフォルト実績



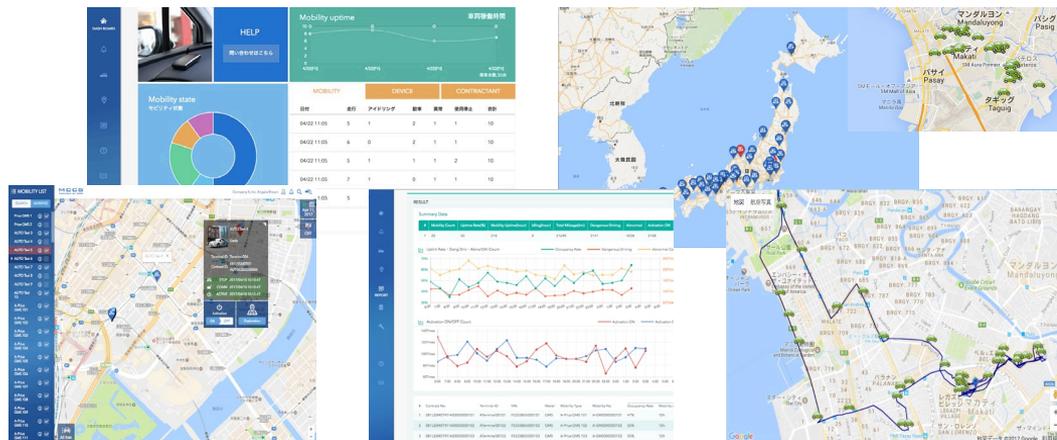
驚異的な低デフォルト率を実現

GMSがプラットフォームに収集するデータ

IoTデバイス“MCCS”を搭載した、利用者のローン・リース車両の運行情報等、各種データをプラットフォームに蓄積



勤務時間・見込み収入等
与信に関わる情報を
データ分析により可視化



従来の「過去」を見る与信とは抜本的に異なる

「現在」と「将来」を見る革新的な与信を利用者に付与

新たな信用を与えることで、豊かな生活を創造



子供を進学させたい

教育ローン



急な入用に対応したい

医療ローン

フリーローン



家を持ちたい

住宅ローン

真面目に働く人が、働いた分を正しく評価され、生活を豊かにするローンを利用できる仕組みを構築

GMSが提供するIoT・FinTechサービスの力で解決

私たちの取り組みにより、持続可能な開発目標の9項目を実現

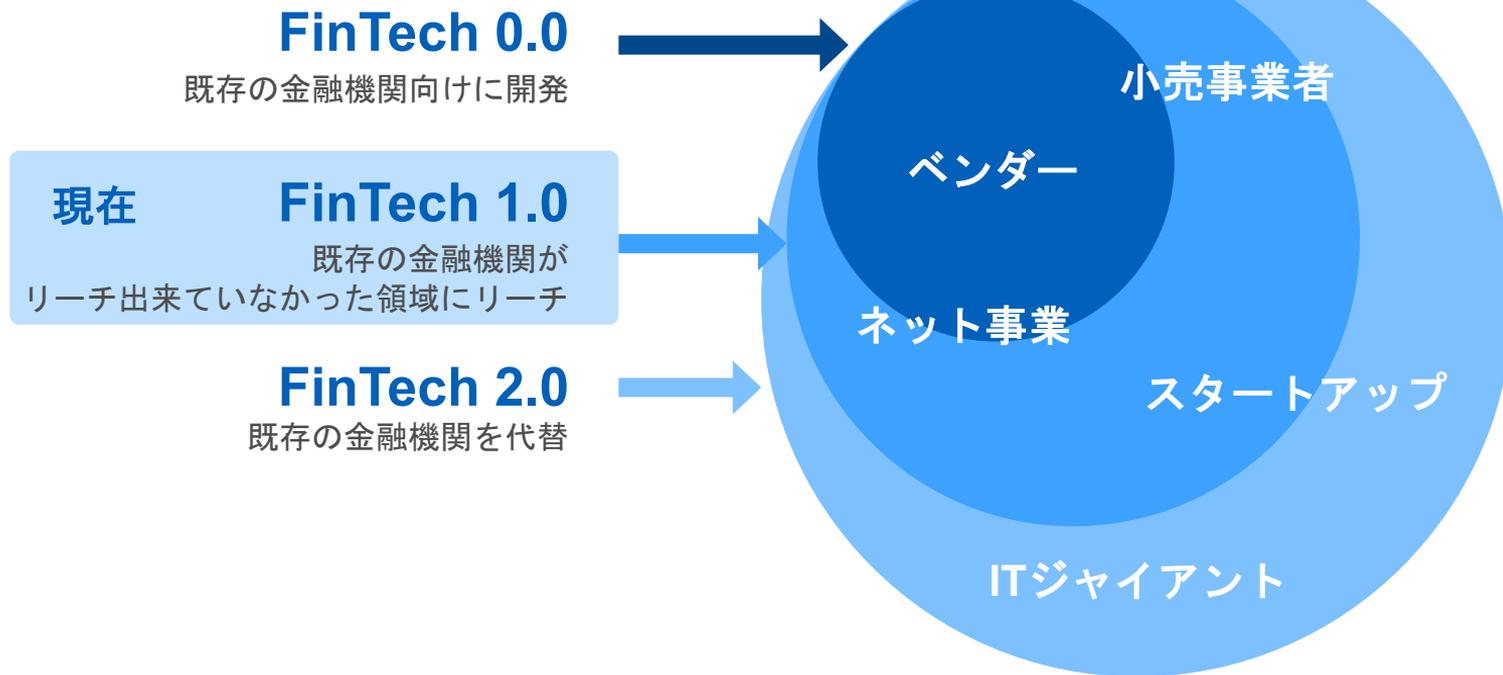
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

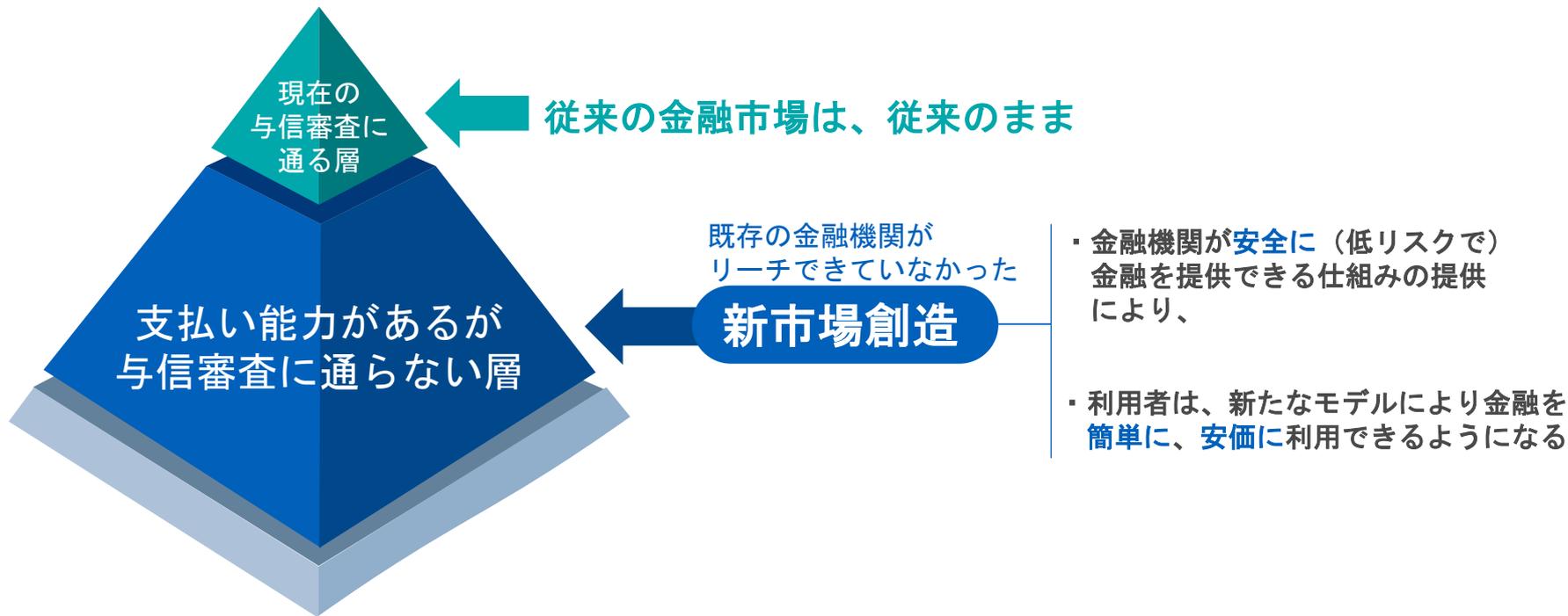


FinTechの現状と将来

金融機関は、いずれ異業種に代替される



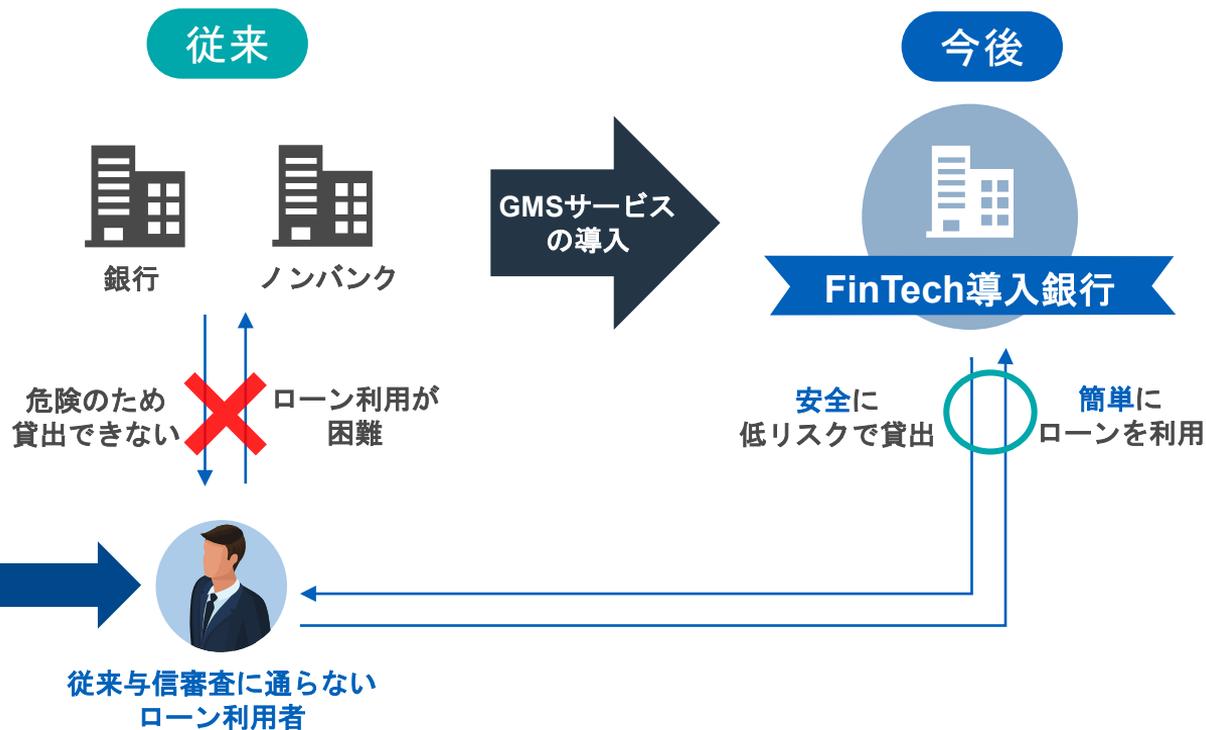
安全・簡単・安価な金融の実現



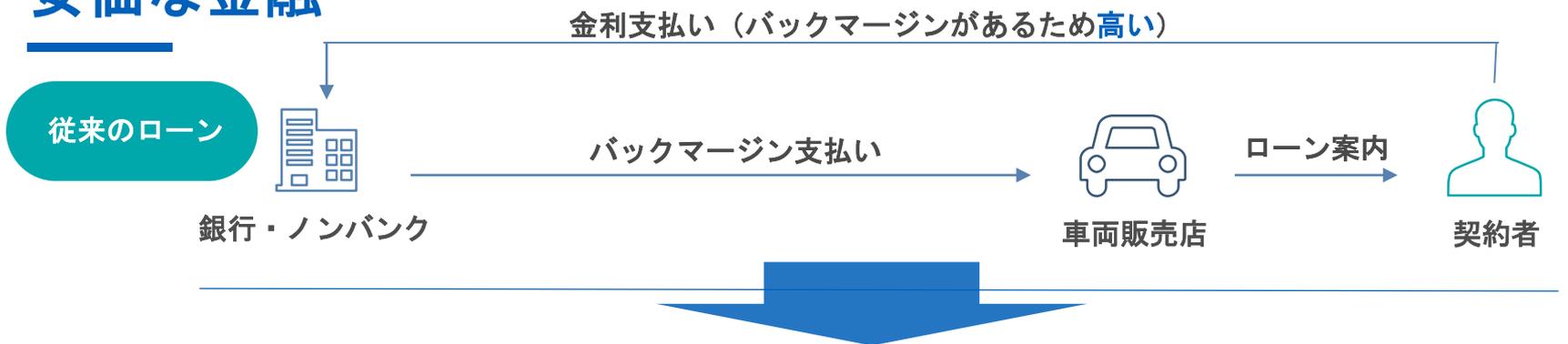
ローン・保険・決済等、多様な金融サービスにおいて共通の概念

安全・簡単な金融

FinTechの仕組みにより
新市場を容易で安全な市場に

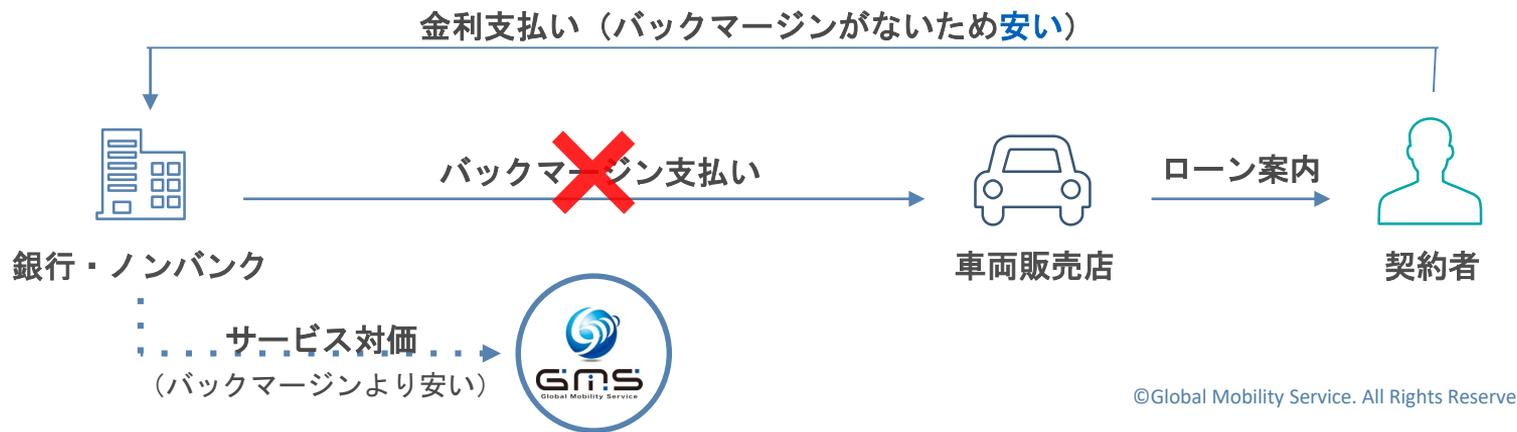


安価な金融



新しい FinTechローン

新たなローンでは、「売れなかった車が売れるようになる」ため、バックマージンは必要ない。従来の与信審査に通らなかった利用者が、安価なローンを利用できる。



既存の信用情報機関の補完

従来



従来与信審査に通る
ローン利用者

従来型の
融資・ローン等
金融サービス

警察
反社情報

照会

銀行

ノンバンク

過去の支払い
履歴情報等

既存の信用情報機関
(CIC, JICC)

- ・金融事業者でないと加盟不可
- ・過去情報しか照会できない

時代の変化

特色
融資
新市場
創造

今後



従来与信審査に通らない
ローン利用者

新たな
融資・ローン等
金融サービス

FinTech
企業

ITジャイ
アント

銀行

ノンバンク

現在・将来の
信用情報

新たな信用創造プラットフォーム

連携

警察
反社情報

このプラットフォームが求められる

おわりに

一億総活躍社会を実現するために
必要な社会システムの一翼を
私たちが担いたいと考えています

